



一本松まちづくりひろば

12

発行：一本松まちづくり協議会 発行責任者 杉山 邦彦

○■ 平成23年度 定期総会並びに第1回まちづくり講演会開催 ■○

去る5月22日(日)、一本松小学校図書室において両自治会のまちづくり委員29名のほか、地域の方、行政、支援団体の方々出席のもと総会及び講演会が開催されました。

第一部総会では、1号議案から5号議案まですべて承認可決されました。また、第二部で本年度第1回講演会が実施され、消防科学総合センター客員研究員

氏に「被災地で起こること、日ごろからの備え」というテーマで講演をいただいた。

今回の東日本大震災の被災地へのボランティアにも参加され、その経験も踏まえてお話を頂いた。東日本大震災から横浜への教訓として、まちの防災拠点だけでなく防災組織を強化すべきこと、防火造りの家でも壊れれば火災は起こるので、先ず火を消すこと、「想定外」という言い方では解決しない、きちんと過去の歴史を掘り起こす必要があることなど、多くの示唆に富むお話を伺った。

平成22年度事業成果

「災害に強いまちづくり」を目指して横浜市より活動助成を頂きました。

- ：月1回の役員会・検討会2回・狭あい道路説明会
- ：「ひろば10号・11号の発行」：私道等整備(階段)
- ：老朽木造アパートの撤去と更地化
- ：雨水タンクと井戸の維持管理 1回/月
- ：先進事例視察(真鶴町・国立市)
- ：他地区からの見学受け入れ(NPOリーダー養成講座)
- ：まちのルールづくりのためのアンケート実施
- ：住まいの環境に関する調査協力(国土交通省)



まちづくり委員の名簿

羽 沢 西 部 自 治 会				西 戸 部 二 丁 目 第 一 自 治 会			
番号	氏 名	番号	氏 名	番号	氏 名	番号	氏 名
1	米岡 美智枝	11	川村 美江	1	杉山 邦彦	11	大島 綾子
2	河野 史明	12	壺沼 君子	2	稲葉 高久	12	赤司 伊美子
3	芝山 昂子	13	酒井 保子	3	斎藤 明	13	養島 千代子
4	田中 真理世	14	市村 美代子	4	高橋 宏	14	和田 和子
5	川島 明弘	15	村上 圭三	5	奥山 孝	15	鈴木 美智子
6	八木下 実	16	浅葉 喜久	6	井上 富義	16	西田 千寿子
7	川崎 義充	17	大峽 洋一	7	横田 昭納	17	加藤 緑
8	粉川 尚人	18	林 憲二	8	佐藤 謙司	18	近藤 和江
9	木部 久子	19	岩崎 玲	9	西宮 昭次	19	薄井 光子
10	瀬戸 満知子	20	川井 和子	10	金子 英治	20	

皆さん、安心していませんか？

なんとなく知っているつもり、わかっているつもりでも、いざとなったら・・・
今回は、私たち住民が何となく感じている素朴な質問に、まちづくりコーディネーターの山路清貴さんに答えていただきました。



Q 3月11日の東日本大震災、横浜でもハマボールの天井が崩落するなど大きな建物に被害が出たのに、この地区では心配されていた家の崩壊、がけ崩れ、ブロック塀の倒壊などがありませんでした。この地区は意外と災害に強いのではないですか？

—— 全く安心できません。東日本大震災の揺れは大きくゆっくりと、そして長く揺れた感じがしませんでしたか？これは「長周期地震動」という特徴をもった地震波でした。遠くまで弱らずに伝わる特性を持ち、高層ビル、長い橋、巨大なタンクなどを共振させて大きく長く揺らすのです。一方、低層の建物はさほど揺れを感じさせないのです。

直下型の地震の波は逆に、激しい揺れの継続時間は20秒程度と短いのですが、ドスンという激しい揺れが一気に来ます。このタイプの揺れに弱いのは木造低層住宅です。

震度7でおこなった実験によると、現在の耐震基準できちんと建てられた家屋は倒壊しませんでした。築30年以上経つ旧基準の（耐震補強していない）2階建て木造住宅はあっさり倒壊しました。阪神淡路大震災などはまさにこのタイプでした。次にこのまちを襲う大地震はどんなタイプの地震波なのか、わからないのです。



提供 防災科学技術研究所 エディフィス
左：耐震補強工事なし 右：耐震補強工事あり

地震

Q 横浜市では戸建て住宅も全て不燃性の建物にしなければならぬと聞きました。万一火事が起きても、延焼して町中が燃えてしまうような心配はいらないのですか？

—— 防火性能を高めた建築は、延焼するまでの時間を延ばしますが、その間に火事を消してしまわなければ、いずれ燃え移る危険性があります。横浜市は全域で、新築住宅の屋根は不燃材料で造るなどの防火対策が義務づけられており、加えて当地区は「準防火地域」というさらに高い防火性能が求められる地域に指定されています。（昔ながらの何の防火性能も施していない木造建物は10分程度で延焼し、防火建築はこれをさらに15分程度、つまり延焼するまでの時間を25分程に長引かせるものと考えられます。）

火事

まして、地震で外壁や屋根がはがれるなどの被害が出た建物は、防火性能が大

きく落ちてしまうのです。仮に地震で倒壊した建物がわずかであっても、大火災が町を焼き尽くしてしまうかも知れません。一番怖いのは火事なのです。

大地震が発生すると、消防には方々から出動要請が掛かる上、道路が渋滞したりがれきでふさがれたりして消防車が到着できないことも十分予測されます。火事が発生したら、火元の方や見つけた方は「火事だ！」と大声で知らせましょう。それを聞いた方は消火器を持って駆けつけましょう。

Q 当地区に自動車が入ってこられる道は限られている一方で、地区内には多くの駐車場があります。例えば、羽沢西部自治会の谷あい自動車道で進入できる入口は1箇所、夜間町内には60台以上の自動車が入っています。災害時の安全のために日頃からどのような事に気をつけたらよいでしょうか？

—— 絶対に路上に自動車やオートバイを駐車しないことです。「普通車は通れるのだから、少しなら出張してもよいか」などと思わないでください。

4mにも満たないような道が地区内のメインストリートであるこの地区では、道路上に障害物があると、消防車や救急車は進入できなくなります。

特に消防車は、脇にホースを取り付けなどのスペースが必要ですから、車幅



ミニ消防車進入実験（2007年2月）

より広い空間が必要です。

また、火災や崖崩れなどが発生して地区内からの早急な避難が必要な場合に、避難者が殺到して混乱するネックを生み出してしまいます。

この地区では、道路を常にすっきりとした状態に保つことが大変効果的な防災対策です。

自動車はもちろん、植木・プランター、自転車やオートバイなども置かないよう、気をつけましょう！

道路

ひとくちコラム：被災地を巡って…

「とにかく見て欲しい」という言伝でを頂いて、6月の初めに短時間ですが見て参りました。一ノ関から陸前高田、気仙沼、石巻、松島、名取、仙台を、一日ただただ見るための装置となって回りました。写真は気仙沼です。とにかくそのスケールが凄まじい。たった一日車で駆け抜けた程度ながら体感できたのでした。他にも沢山のことを感じました。簡単に整理出来ることではありませんが、まちづくりに少しでも活かせたらと思います。（羽沢西部・河野）



〈これまでに実施した事業位置図〉

平成 22 年度までに実施した成果がだいぶ増えてきました。

非 公 開

- ミニ防災広場の充実
- 雨水貯留タンクの設置
- ☆ 既存井戸(廃棄)
- ★ 井戸整備(補強、新設)
- 雨水浸透型舗装
- 階段の改修
- ◆ 空き家跡地の更地化(働きかけで実施)
- 広域避難場所/地域防災拠点
- 公園、自治会館など一階段



平成23年度事業計画



西戸部2丁目第1自治会・羽沢西部自治会の防災マップ作りに取り掛かります。マップに盛り込む内容の検討から入ります。高低差が激しい地形の中で高低差を盛り込んだ防災マップを目標に進めます。興味のある方は是非ご参加ください。所属自治会長まで御連絡下さい。

①西戸部公園が一時避難所として機能するよう設備拡充を目指します。(災害時炊き出し用かまどベンチの増設等)

非常時に全住民への情報伝達手段を考えます。①広範囲への音声による情報伝達手段が無いが検討を始めます。②掲示板の維持管理を見直し、量的な検討をして十分に伝えられているか再考します。

両町内の道路を災害時に安全な避難路として使えるように皆さんの意見を取りまとめながら、平常時より路上に通行の障害となるものを置かないように環境整備に取り組みます。
*オートバイ・自転車の路上駐輪をなくす。
*路上にプランター・植木鉢は置かない。

まちづくり協議会からのお知らせ
羽沢西部自治会内の整備促進路線に面した、崩壊の危険性が高い崖地の擁壁築造工事が多くの方々3年に渡るご尽力で、9月着工の運びとなりました。大型車が入れない場所の難工事で、今年度中に3軒分、来年度2軒分と長期にわたる工事となり、周辺の皆様には大変なご不便とご迷惑をお掛けしますが無事工事が完了出来ますようご理解とご協力をお願いいたします。